



子どもの虹情報研修センター

研修のご案内～2026年2～3月開催

vol.17 2025年11月

テーマ別研修【オンライン】

「今、死亡事例から学ぶーこれまでの課題を超えて」

児童虐待防止法が2000年に施行されて25年、国が「子ども虐待死亡事例検証報告」の公表を開始してから20年が経過しました。2025年度テーマ別研修では、我が国での子ども虐待対応の流れを省察するため、ここで一度立ち止まり、これまで行われてきた子ども虐待死亡事例検証を振り返ることで、子どもの死亡に真摯に向き合いたいと考えました。

本研修を通じ、死亡事例の発生を防ぎ、子どものいのちをまもるために真に必要なことは何か、受講者、講師、虹センターが共に考え学び合う機会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

- 日程：2026年3月12日（木）10：00開会 16：45閉会
- 対象：このテーマに関わる専門職で、各所属機関で指導的立場にあり、
子ども虐待関連業務経験通算3年を満した者（各機関1名）
- 定員：200名

① オンデマンド配信（事前視聴）

テーマに関連したオンデマンド講義を2本用意しました。

【講義1】子どもの死亡を考える：

Child Death Review をもとに

沼口敦(名古屋大学医学部)

予防のためのこどもの死亡検証(CDR)を通じ、子どもの死亡について広く学びます。(30分)

【講義2】子ども虐待重大事例の分析から

見えてきたこと

川崎二三彦(子どもの虹情報研修センター)

虹センターで行ってきた研究の中から、死亡事例の家族の特徴を中心に報告します。(30分)

② ライブ配信

【講義1】子ども虐待死亡事例の検証から見えるもの

増沢高(子どもの虹情報研修センター)

こども家庭科学研究ではこれまで行われた死亡事例検証報告を振り返り、有識者へのヒアリングを行いました。そこから得られた知見等をもとに、これからの検証や虐待対応に必要な視点を学びます。

【講義2】“指導”から“支援”への転換をめざしてー子どものいのちをまもるために

小林美智子(子どもの虹情報研修センター)

小児科医ケンプは「虐待は自然治癒しない。支援が必要」と明言しました。今、我が国に求められているのは子どもや家族への「支援」です。子どものいのちをまもるために何ができるか考える時間とします。

【パネル討論】今、子どもの死亡事例から学ぶーすべてのいのちが育まれる社会を目指して

これまで、子どもの死亡事例はどう受け止められ、見出された課題はその後の子どもと家族への支援や虐待対応システムの発展にどのように活かされたのでしょうか。登壇者・受講生・事務局全員ですべての子どものいのちが健やかに育まれる社会を実現するために必要な視点や方策など考えましょう。

児童相談所医師研修・医師専門研修【参集・オンライン】

●日程：2026年2月26日（木）

●対象：児童相談所に勤務する医師（勤務形態は問わず、非常勤や嘱託を含む）

児童福祉施設、保健機関、医療機関等に勤務している
子ども虐待関連業務に携わる医師

●申込期間：10月20日（月）～12月8日（月）

本研修は、参集・オンラインのハイブリッド形式で開催します！

申し込みの際に備考欄に参加希望形式を【参集（もしくは）オンライン】を記載してください。

オンデマンド配信（事前視聴）

【講義1】（60分）児童相談所医師に求められるはたらきと期待 金井剛（開花館クリニック/国立武蔵野学院）

【講義2】（60分）社会的養護における子どもの育ち—権利擁護の視点も含めて 花田悦子（報恩母の家）

ライブ配信

10:00 開会

10:15～11:45 【講義】心やからだを傷つけてしまう子どもの理解と支援

大嶋栄子（特定非営利活動法人リカバリー）

13:00～14:30 【事例検討】子ども虐待ケースへの対応

報告：木下直俊（兵庫県中央こども家庭センター）

助言：右田佳子（川崎市南部児童相談所）・藤澤陽子（国立武蔵野学院）

進行・助言：安常香（広島県西部こども家庭センター）

14:45～16:15 分科会

<参集> 【講義】困難な事情を抱える妊産婦の実際—社会で支える出産と子どもの育ち
鮫島浩二（あんしん母と子の産婦人科連絡協議会）

<オンライン> 【講義】Child Death Reviewの現状から多機関連携を考える
沼口敦（名古屋大学医学部附属病院）

2026年度研修計画一覧をホームページに掲載しました！

「子どもと家族から学び、現場を通じて、子どもと家族に返す」を理念に2026年度研修を企画・開催します！

新規研修

● 一時保護施設管理者・指導者研修【参集・オンライン】（10月開催）

児童相談所に併設された一時保護施設の管理者・指導教育担当職員を対象にした研修です。一時保護施設の意義とあり方、子どもの“声”を聴くとは、子どもの権利擁護等について共に考えましょう。本研修はハイブリッド形式で開催します。

● 子どもと家族を地域で支えるソーシャルワーカー合同研修【オンライン】（8月開催）

子ども虐待に携わるソーシャルワーカーを対象に開催します。地域で子どもと家族を支えるために何ができるかソーシャルワークの視点から考えます。児相・施設・市区町村・教育・医療機関等多機関からの参加をお待ちしています。

テーマ別研修

● 「虐待のその後を考える—長期予後と子どもの育ち」【オンライン】（2027年3月開催）

このテーマに関心のある専門職の方が対象です。虐待の影響、長期予後、子どもの人生の連続性について一緒に考えませんか。広く参加をお待ちしています。

実施要項のダウンロード・申し込みはホームページから！



援助機関向けページのパスワード【crcjapan（半角小文字）】

25年度研修は [こちら](#)



子どもの虹情報研修センター

研修部 ☎045-871-9317 ✉kenshu@crc-japan.net